

勝林寺文報

の最高権威者になつていました。

丁度そのころイングから「大集經」という大切なお經が伝えられました。彼はそのお經の注釈にとりかゝつたのですが途中病にかかりました。

本師累擢梁天子

墨鏡大師德たかく

常向燭處菩薩禮
三藏流支授淨教
焚燒仙絳帰樂邦

梁の天子にあがめら
三藏流支にみちびか
仙経すてて弥陀に帰

お釈迦様から親鸞聖人まで、阿弥陀如来さまのおよび声であるお念佛を。正しく伝え伝えてく

親鸞聖人さまがちょうど父親のようにおしたいになつたのがこの墨鸞さまです。親鸞さまが自分の名をつけるために墨鸞の鸞の字を一字いたどいておられることからもそれが伺い知れます。

この「正信偈」では二つの面から蠱惑さまのお徳をおたたえになつています。
一つは蠱惑さまといふ人の「謀範めぬ」「生きかた」という面から。もう一つは「本願力迴向」という面から。いちばん大切な教えを明らかにしてくださつたと
いう面からおたたえておられます。
今日はそのうち第一の「人がら」の面をたたえられた部分です。

釋迦さまは四七六年（日本で言うとようやく王
皇の勢力が少くとも中部以西の日本を征服して外
国にも交際を求めるようになったころ）。北
中國山西省の雁門というところに生れました。そ
の土地の近くには五台山といつて仏教の中心地が
ありましたから彼はもう十五歳のころにはそこで
出家をしました。彼がそれから学んだのは「空」
という仏教の最も基本になるむずかしい学問でし
た。五十歳になるころには「四論宗」という学派

A decorative floral border element featuring stylized flowers and leaves.

仏教婦人會

總代表役
代國

勝林寺

新年明けまして

熙 慈
曜 光

田横数宮坂永宮大谷平龜田龜中永兼宮玉西西西西
中山森島本井島石垣野井中井島井池池池池
美しき 美
和千ヶえ敏重 千正逸 保幸有貞正清秀 卓秀 瞽哲
子枝の子子子滋勉秋和雄稔孝夫男隆雄規三歳匡馬子功子

おみのりを聞く

毎月十日は「玉田会」と「十六夜会」の日です。おまいりください。

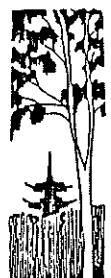
出石町宵田 高福寺

「十六夜」
午後七時半より

毎月二十五日は勝林寺の「みのりを聞く会」です。仏社・仏婦の共催で昭和四十

毎月二十五日午後八時より

勝林寺



「成道会」に

士百八日はお釈迦さまがおさとりを開いて如来さまになられた日、「成道会」であります。

お釈迦さまは何をさとつて如来さまになられたのでしょうか。

一説に、三つのことを見通す智恵がひらけて如来さまになられたと言われます。この三つのことを見通す智恵を「三明」と申します。

いまの自分のほんとの姿が見えてきました。自分が遠い前の世からたどつてきた足どりも見えてきました。そして自分がこれから歩んで行く行き先もはつきり見通せてきたのです。

そうして如来さまにおなりなさったのでありました。ありますから、如来さまというのは、この三つの智恵をもつて、いまも私たちを照してしていくくださるのです。

一日の終りに、お仏壇の前の、如来さまのお光のなかに座つてお念仏を申しましよう。今日一日の私の生きざまがしみじみと見えて参ります。

人を非難したり、ねたんだり、憎んだり、うらんだり踏みつけたり、けおとしたりしたその当の私が、実はいちばん浅間しい悲しい人間であったということが、そればかりではありません。こんな因業な私は、思つてみれば過去前世からの積み重ねた業報であり、そして、この罪つくりな私の行く先は、三悪道流転の道しかないことも次第に見えてくるはずです。同時に、如来さまのお光は、この三悪道を迷い続けてきた今のこの私の、すべてを見ぬきすべてを引き受け、十劫という遠い遠い昔から今日の今まで、「帰命せよ」「如来のいのちに帰れ」と呼びつけていてくださるそのおよび声が聞こえてくるは

です。

如来さまは、昔も今もこれからも、慈悲のおのちと智恵の光をもつて、いつでもどこでも守り照してくださるのです。

(十一月十日テレホン法話より)

トンビ・いぬ・人間



大きなトンビが寺の本堂に住みつきました。お肉やなんかも人の手からたへます。

「なにかのご縁でお寺の本堂に住みついたのだから、お念仏を聞かせてやりましょ」と念仏申しながらえさをやるのですが、トンビはえさをついばむと、その度に頭をブルツとふるだけで、どうもお念仏は聞こえていないようです。

寺に長年かつている犬もそうです。

朝のおつとめが終つて最後の鐘がゴーンとなると、この犬はワンワンとはえ出します。「さすがにお寺の犬ですね、お念仏してるのでしょか」と人は言いますが、実はそうではあります。この犬は、おつとめが終つたらその次には散歩に連れて行つてもらえるのだということを知つていて、「早く、早く」と催促している、それだけなのです。

悲しいことです。
しかし、それは人ごとではありますまい。
遠い昔から私へ向けて呼んでくださつてゐる声があつても、頭をブルツとふるわせるだけで、聞こえてしまうか、あるいはいつしょにえさをもらつても、けだものや鳥はお念仏を聞きとることができないのです。

「三悪道をはなれて人間に生ること大いなる

よろこびなり」

犬ではない。トンビではない、この人間に生れ出させていたゞいたからには、お念仏に出会わさせていたゞかなければウソです。なぜならば、お念仏は、人間に生れてきた今度こそ、生死流転・六道輪廻のまよいを去れよと呼んでくださる如来さまの声ですから。

(十二月二十日テレホン法話)



勝林寺仏教青年会
総会

二月十二日(日)午後一時

九月

八月

七月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十月